

報道関係各位

2014年5月26日  
学校法人 成蹊学園

2014年度成蹊大学理工学部一般選抜入学試験（A方式）における  
入学試験問題について

2014年2月11日（火）に実施いたしました理工学部一般選抜入学試験（A方式）の試験科目「生物」において、下記のとおり、問題の一部に不備がありました。

受験生のみなさま、関係各位に深くお詫びを申し上げますとともに、受験生に不利益が生じないよう、本学では以下の対応を採ることといたしましたのでお知らせいたします。

今回の事態を真摯に受け止め、今後このようなことがないよう、再発防止に努める所存です。

記

1. 試験日

2014年2月11日（火）

2. 対象入試制度

理工学部一般選抜入学試験（A方式）

3. 試験科目・科目受験者数

「生物」

募集人員	理工学部	129名
2時限「理科」	受験者数	1,708名
生物	受験者数	137名

(1) 内容（内容詳細につきましては別添のとおり）

第3問、問7（10ページ）の設問について問題文で「 $\beta$ -カテニン遺伝子の mRNA の終止コドンのうち」を「ヘッジホッグ遺伝子の mRNA の終止コドンのうち」と記述したため、当該箇所が解答に影響を与えるものと判断しました。

(2) 経緯

2014年5月20日（火）に外部より指摘があり、判明しました。

(3) 対応

当該設問について、「生物」を選択した受験者全員を正解とします。

なお、この措置に伴う当該科目の平均点等への影響は少ないので、他の選択科目（物理、化学）との得点調整は行いません。

【合格発表への影響について】

「生物」受験者137名のうち当該設問の不正解者20名が加点対象となりますが、加点後に再度合否判定を行った結果、不合格から合格になる者はいないことを確認しました。

<本件に関するお問い合わせ先>  
成蹊学園 企画室広報グループ  
TEL：0422-37-3517

[別 添]

2014年2月11日実施  
理工学部一般選別入学試験 試験科目「生物」問題の不備について

1. 内容

「生物」第3問、問7(10ページ)の設問について、問題文で「β-カテニン遺伝子の mRNA の終止コドンのうち」を「ヘッジホッグ遺伝子の mRNA の終止コドンのうち」と記述したため、当該箇所が解答に影響を与えるものであり、問題として不成立と判断した。

<当該問題の抜粋>

問7 プラナリアのβ-カテニン遺伝子の mRNA には、開始コドンから終止コドンまでに733個のアデニン、398個のグアニン、342個のシトシン、612個のウラシルが含まれている。一方、翻訳される領域には731個のアデニン、398個のグアニン、342個のシトシン、611個のウラシルが含まれている。ヘッジホッグ遺伝子の mRNA の終止コドンのうち最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① UAA      ② UGA      ③ AUG      ④ CCG

以上